

## 第2学年 生活科学習指導案

令和 6年 7月3日 3校時  
つるぎ町貞光小学校 2年 16名  
授業者 T1 担任  
T2 栄養教諭

### 1 単元名 ぐんぐんそだて わたしの野菜い

### 2 単元設定の理由

本学級の児童は、人と接することが大好きで、様々なことに関する興味関心も強い。食に関しても積極的な児童が多く、1年生のときには学級園で栽培したさつまいもを使って地域の方々とおやつを作る活動を行い、栽培や収穫、みんなで作って食べることの喜びや楽しさを味わった。しかし野菜に関しては苦手な児童が多く、給食の時間に、自分に配膳された量を減らしてほしいと食缶に並びに来る児童も少なくない。

生活科では、1年生の時にアサガオの栽培活動に取り組んだ。2年生では、なす、きゅうり、ミニトマト、とうもろこし、ピーマンなど、育てたい野菜の苗をそれぞれが選び、「自分の野菜」として苗から育てる活動をしてきた。水やりなど野菜の世話を毎日続ける中で、「芽が出たよ」「葉っぱが大きくなった」など、野菜の生長を喜び、自分の野菜に愛着を覚える児童が増えてきた。「自分の野菜」に対する思いや願いを持ち続けながら、多くの児童が野菜の世話を継続して行うことができおり、野菜の生長や実のなっていく様子、実の付き方、大きさや色づきなどを熱心に観察する様子が見られる。単元を通して、野菜を育てることの楽しさや苦勞、収穫の喜びを味わわせたい。

本時では、野菜の栄養面に着目し、体内での良い働きを知らせることで、愛着を持って育てた「自分の野菜」を食べようとする意欲を高めたい。また、授業後に、自分が育てた野菜を自宅に持ち帰り、収穫した野菜の良さや栽培活動の様子、自分の思いを家族に伝える場面を設定する。家族に伝えるための言葉を考える活動を通して、野菜と自分との関わりを振り返らせたい。

### 3 単元の目標

身近な植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所や変化、成長の様子に関心を持って働きかけ、それらに生命があることや成長していることなどに気付くとともに、植物に親しみを持ち、大切にしようとすることができる。

#### 4 単元の評価規準

| ア 知識・技能                                           | イ 思考・判断・表現                                               | ウ 主体的に学習に取り組む態度                             |
|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 身近な植物を継続的に栽培する活動を通して、それらに生命があることや成長していることに気付いている。 | 身近な植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。 | 身近な植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみを持ち、大切にしようとしている。 |

#### 5 食育の視点

野菜の育て方や体内での働きを理解し、食への興味・関心を高め、進んで食べようとする意欲を育てる。（食事の重要性）

#### 6 単元計画

- 第1次 育てる野菜を決めよう・・・・・・・・・・1時間
- 第2次 野菜の世話と観察をしよう・・・・・・・・10時間
- 第3次 育てた野菜を収穫しよう・・・・・・・・・・2時間
- 第4次 育ててきた野菜のことをまとめよう・・・2時間（本時1／2）

#### 7 本時の学習

##### （1）目標

体内での野菜の働きや、野菜と自分自身のかかわりの良さを伝えようと、意欲的に宣伝の準備をすることができる。

##### （2）展開

| 時間                     | 学習活動                                | 指導上の留意事項                              | 評価規準・<br>（評価方法） |
|------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-----------------|
| 5 分                    | 1 栽培活動を思い出し、自分が育てた野菜と自分とのかかわりを確認する。 | ○栽培活動で頑張ったことや、観察で気がついたことを振り返らせる。（T 1） |                 |
| おいしい 自分の やさいを せんでん しよう |                                     |                                       |                 |
| 5 分                    | 2 体内での野菜の働きについて知る。                  | ○野菜を食べると、どんないいことがあるのか説明する。（T 2）       |                 |

|     |                                                                                          |                                                                                               |                                                                             |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 15分 | 3 自分で育てた野菜を家族に宣伝できるようにする。<br>・水やりを頑張ったからたくさんピーマンがなったことと、これを食べるとおなかのそうじをしてくれることを家族に伝えたいな。 | ○伝えたい言葉をワークシートに記入させる。(T1)<br>○育ててきた野菜に対する自分のかかわりの良さについて確認する。(T1)<br>○体内での野菜の働きも書くことを確認する。(T2) | 体内での野菜の働きや、野菜と自分自身のかかわりの良さに気づき、意欲的に宣伝の準備をしている。<br>【思考・判断・表現】<br>(ワークシート・発表) |
| 10分 | 4 家族に伝えたいことを、隣の席の児童と交流する。                                                                | ○交流のやり方を説明する。(T1)                                                                             |                                                                             |
| 10分 | 5 本時の学習のまとめをする。                                                                          | ○野菜の体内での働きと、自分の思いをわかりやすく書いている児童を紹介し、全体に広める。(T1)                                               |                                                                             |

(3) 評価および指導の例

|                              |                                                |
|------------------------------|------------------------------------------------|
| 「十分満足できる」と判断される状況            | 体内での野菜の働きや、野菜と自分自身のかかわりの良さに気づき、意欲的に宣伝の準備をしている。 |
| 「おおむね満足できる」状況を実現されるための具体的な指導 | 個別に対話をして栽培活動を想起させ、その子どもなりの野菜とのかかわりを引き出し、価値づける。 |